

【応募フォーマット】（「たねリン」プロジェクト SDGsの取り組み）

企業名・氏名	杭州中学部 株式会社
代表者名	浙江 太郎
連絡先	sdgs@hzjschool.sakura.ne.jp

1. SDGsとは

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略です。2015年9月、ニューヨークの国連本部で「国連持続可能な開発サミット」が開催された際に、「我々の世界を変革する、持続可能な開発のための2030アジェンダ」=SDGsが採択されました。2016年～2030年までの15年間で世界が達成すべきゴール（目標）を表したものです。



世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題が挙げられ、17の目標と169のターゲットから構成されています。

2. 【たねリン】プロジェクトについて

私たちは中学部の総合的な学習の時間において、「SDGsとは何か」ということを知り、個人や社会、企業のSDGsの取り組みなどを調べ、学習を進めてきました。実際に、校外学習で杭州にある企業を訪問して、企業の取り組みを教えてもらうなどして、SDGsへの学びを深めているところです。

これから私たちは、皆さんが企業や家庭で行っているSDGsの活動を募集し、杭州 Naviを通して紹介していきます。（詳細は12月号でお知らせします。）また、私たちが考えた「たねりん」が活躍する4コマ漫画や本校で実際に行った活動を発信していきます。

【たねリン】プロジェクトは「人と人をつなぎSDGsの活動を広めていくバトンとなる」プロジェクトです。

3. 本プロジェクトに込めた思い

もし明日電気や水が止まったら？もし食べ物が手に入らなくなったら？自分の身の周りで争いが始まったら？今私たちが当たり前で生活できていることは、当たり前ではありません。地球の資源は有限であり、たくさんのもや人などの犠牲の上に成り立っているものも多くあります。今、私たちは地球人の一員として、持続可能な社会に改善していくべきです。そして、それが大事だということに気づいてもらうには、知ってもらわないと始まりません。

そのために、まず私たち杭州日本人学校から、杭州に住んでいる人たちに持続可能な開発目標 SDGsを知ってもらい、地球人の一員として貢献することの大切さを知ってもらう活動を行います。具体的には、実際に身近で行われている SDGsの取り組みや持続可能な社会にしていくことの大切さを発信します。次に、「積極的に生活の中で取り組もう」と杭州に住んでいるみなさんに思ってもらえるようにしていきます。そうすることで、少しずつ持続可能な社会のための行動が広がっていきます。活動がみんなの心を一つにし、力が合わさっていきます。取り組みがそこで止まってしまっは意味がありません。だから杭州の輪から中国、日本の輪、そして世界の輪となっていくことを目標に私たちは活動していきたいです。

小さな力も集まればやがて大きな力となります。一人ひとり小さな力でも、みんなで力を合わせることで、不可能を可能に変えることもできると信じています。

4. キャラクター説明

このキャラクターの名前は、「たねリン」です。名前の由来は、ひとつぶの種とリング(輪)という意味からきています。「ひとつぶの種」は、本校の校歌にもある「風に乗ってやってきたひとつぶの種のように、この大地に芽吹き、枝いっぱい葉をしげらせよう」という杭州日本人学校ならではの歌詞の意味を表しています。「リング」は、杭州の輪から世界の輪へ広げていこうという意味が込められています。

二つの意味が合わさってできたのがこの「たねリン」です。風に乗った「たねリン」が杭州の輪を越えて多くの人のもとに、SDGsのことや自然や環境を守る大切さを届けます。



※タイトルは1つでも、複数でも構いません。A4サイズ1枚か2枚に収まる程度に文書の作成をお願い致します。